

(様式1)

自己評価表

愛媛県立伊予農業高等学校
学校番号(30)

教育方針	徳・知・体の調和のとれた人格の完成をめざし、民主的な国家及び国際社会の有為な形成者となるにふさわしい人間力を培い、豊かな人間性や自ら学び自ら考えるなど生きる力を備えた心身ともに健全な生徒の育成を期する。	重点目標	地域社会に根ざした教育の推進 — 豊かな人間力の育成を目指して — 1 自己価値観を確立する。 2 自分の頭で考えることのできる人間を育てる。 3 心の教育を実践する。 4 健康と体力を育む。
------	---	------	--

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
PTA活動	PTA活動の活性化	・PTA役員の理事会への参加率 76%以上 ・PTA総会の出席率 22%以上	C	・PTA役員の理事会の出席率 78.7% ・PTA総会の出席率 20.5%	総会の出席率を向上させるため、魅力のあるカリキュラムを検討したい。
	保護者への情報発信の充実	・「みずほ通信」のHPへの掲載 100%	A	・「みずほ通信」のHPへの掲載 100%	継続して目標を達成したい。
学習指導	家庭学習の充実	・1日平均家庭学習時間 調査発表中 100分以上 調査中 150分以上	B	・1日平均家庭学習時間 調査発表中 87分以上 調査中 156分以上	調査発表以外の普段の学習時間の確保のため、科、学科、進路課等と連携し、課題の提示について検討したい。
	満足感・達成感を味わえる授業の展開	・1か年皆勤者数 50%以上 ・1日当たり欠席率 1%未満	A	・1か年皆勤者数 62.3% ・1日当たり欠席率 1.00%	夏場、冬場の欠席者数の減少のための方策を検討したい。
	教育情報の発信	・HPの更新 週5回以上	B	・平均週3.5回(アクセス数550/日)	・学科情報のバランス、部活動情報の定期的な発信を心がけたい。
生徒指導	規範意識の向上と個に応じた指導の充実	・身だしなみ再指導生徒 17%以下 ・中途退学生徒 0名 ・特別指導生徒 0名	B	・身だしなみ再指導生徒 12.0% ・中途退学生徒 2名 ・特別指導生徒 5名	転学・退学者数を減らすことができるようしっかりと目標を持たせたい。 規範意識の向上をはかりたい。
	交通安全指導の充実	・教職員による街頭指導や安全通学委員による交通安全啓発運動により、交通道德を身に付けさせ、交通事故・違反0件を目指す。	C	・登下校時の交通事故件数 16件	自転車による交通事故が減るよう、交通安全啓発運動に力を入れると同様に、生徒に対してヘルメット着用や自転車のルール・マナーについて積極的に声かけを行いたい。
進路指導	自己実現の達成	・第一希望校への入学 100% ・第一希望職種への就職 100%	C	・第一希望校への入学 88.6% ・第一希望職種への就職 95.6%	就職に関しては昨年同様、内定率が高かったが、インターシップの受入先や実施期間について再検討したい。進学に関しては、フューチャー制の強化や指導の早期化を図りたい。
	生き方へのこだわり	『伊予農での学び』を生かした進路実現 ・関連分野への進学者 50人以上 ・関連産業への就職率 30%以上	B	・関連分野への進学者 53人 ・関連産業への就職率 38.8%	就職に関しては、関連分野で活躍しようという生徒が更に増えるよう指導・助言に努めたい。進学に関しては、学科により格差が生じないよう「学び」のモチベーションを高める進路指導に努めたい。
特別活動	部活動の活性化による体力・気力のあるたくましい人間の育成	・部活動加入率 95%以上 ・県総体出場生徒数 120名以上 ・高文祭参加生徒数 50名以上	C	・部活動加入率 91.9% ・県総体出場生徒数 131名 ・高文祭参加生徒数 57名	運動部の競技力向上と、愛媛国体に向けてライフル射撃部の強化を推進する。また、文化部の活性化と高文祭参加生徒数増加を図る。ボランティア活動とあいさつ運動の積極的な参加を生徒会を中心として呼びかける。
読書指導	図書館利用の拡大	・生徒一人当たりの図書貸出冊数 6冊以上 ・一日当たりの図書館利用生徒数40人以上	B	・生徒一人当たりの図書貸出冊数6.7冊 ・一日当たりの図書館利用生徒数48人	図書委員を通じての図書館利用の促進を図ると同時に、教職員に向けても授業やホームルームで図書館を利用してもらうように情報を発信していきたい。授業等で必要とされる本についても予算の許す範囲で購入していきたい。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
情報教育	情報モラルの充実と情報モラル教育の徹底及びセキュリティの保守管理	<ul style="list-style-type: none"> 不正アクセスとウイルス感染 0件 校内ネットワークの整備と点検 常時 データ(個人情報)の流出・漏洩 0件 情報の機密性、完全性、可用性の維持100% 	B	<ul style="list-style-type: none"> 不正アクセスとウイルス感染 0件 校内ネットワークの整備と点検 常時 データ(個人情報)の流出・漏洩 0件 情報の機密性、完全性、可用性の維持 100% 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい校内LANシステムの構築と保守・管理 情報セキュリティ機能の改善と個人情報保護の注意喚起 個々のICT活用におけるスキルアップ
厚生管理	快適で心豊かな学校生活	<ul style="list-style-type: none"> 学校保健委員会の開催 年1回 衛生委員会の開催 毎月1回 保健だよりの発行 毎月1回 トイレの点検 毎月2回 清掃道具の点検 毎学期1回 	B	<ul style="list-style-type: none"> 学校保健委員会の開催 年1回 衛生委員会の開催 毎月1回 保健だよりの発行 毎月1回 トイレの点検 毎月2回 清掃道具の点検 毎学期1回 	<ul style="list-style-type: none"> 環境衛生については、定期的な点検・検査を通して早めの対応をしていきたい。 学校保健委員会では、生徒保健委員会の活動報告ができるように生徒代表の参加を検討していきたい。 校内の美化活動にも力を入れていきたい。
	安心・安全な生活に対する意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練の実施 年3回 救命救急講習会の参加 2年に1回 学校安全委員会の開催 年2回 	B	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練の実施 年3回 救命救急講習会の参加 2年に1回 学校安全委員会の開催 年2回 	<ul style="list-style-type: none"> 学校安全については、施設管理場所の定期的な点検を通して早めの対応をしていきたい。 救急法講習会では、できるだけ多くの生徒・教職員が参加できるように呼びかけていきたい。 避難訓練では、より実践的な力を身に付けるための工夫をしていきたい。
人権・同和教育	人権・同和教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 伊予市人権ポスター入選 1名以上 伊予市人権作文入選 1名以上 伊予市人権標語入選 3名以上 校内人権作文の提出 100% 校内人権標語の提出 100% 愛媛県人権ポスターの提出 2名以上 	B	<ul style="list-style-type: none"> 伊予市人権ポスター入選 1名入選 伊予市人権作文入選 入選なし 伊予市人権標語入選 2名入選 校内人権作文の提出 100%提出 校内人権標語の提出 100%提出 愛媛県人権ポスターの提出 1名入選 	<ul style="list-style-type: none"> いじめ・体罰に関するアンケートを継続的に行い、いじめ防止、早期発見、適切な対応を行う。 人権・同和教育HRを充実させ、人権意識を高め、実践態度を育てる。 広報活動を充実させる。
教育相談	個に応じた教育相談と特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 個別相談 100%対応 特別支援(発達障害等) 100%対応 巡回相談等の利用 年1回以上実施 校内研修 年1回以上実施 啓発資料の配布 年10回発行 	B	<ul style="list-style-type: none"> 個別相談 100%対応 特別支援(発達障害等) 100%対応 巡回相談等の利用 無し 校内研修 年1回実施 啓発資料の配布 年10回発行 	<ul style="list-style-type: none"> 発達障害のある生徒への支援を充実させる。特別教育支援委員会を活用して共通理解を持ち支援方策を検討する。 今年度に引き続きスクールライフアドバイザーの協力を得て、生徒・保護者の相談に応じ、健全な学校生活が送れるように支援する。
農業教育	授業力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 相互授業参観研究授業参加 年3回以上 	B	<ul style="list-style-type: none"> 相互授業参観研究授業参加 3回実施 	<ol style="list-style-type: none"> 今後も生徒の進路実現につながる職業資格・検定の継続的な指導を行う。 今後も農業クラブ活動の充実を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ①生徒1人1人に農業クラブ員としての自覚を持たせる。 ②農業クラブ顧問や学科長を中心とした指導体制の強化を図る。 ③教科内での計画的な指導を行う。 今後も地域に開かれた学校を目指し、計画的な取組を実施する。
	農業クラブ及び資格取得の充実	<ul style="list-style-type: none"> 職業資格・検定の取得 年間合格者数 延べ人数1500名以上 地域交流事業及び農業クラブボランティア活動 開催 50回以上 農業クラブ各種発表県大会・各種競技会 全部門・全種目出場、出場者 全員入賞 農業クラブ全国大会農業鑑定競技 全学科入賞 農業クラブ全国大会各種発表会・競技会 全種目出場 	B	<ul style="list-style-type: none"> 年間合格者延べ人数 1485人 地域交流事業及び農業クラブボランティア活動 110回 全部門・全種目に出場 50人入賞 5人入賞(7人中) 4種目出場(7種目中) 	
	専門技術の向上	<ul style="list-style-type: none"> 施設見学及び各種研究会への参加 年3回以上 地域開放講座等の開催 年10回以上 	B	<ul style="list-style-type: none"> 施設見学及び各種研究会への参加 年7回実施 地域開放講座等の開催 年12回実施 	
	農業教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 農場及び特別教室の整備及び点検 年3回以上 	B	<ul style="list-style-type: none"> 農場及び特別教室の整備及び点検 各学期計3回実施 	

※ 評価は5段階(A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった)とする。